

# MODEL POWER BOAT RACE ALL JAPAN CHAMPIONSHIP 2023



JAPAN MODEL POWER BOAT ASSOCIATION

## 第56回400m周回全日本選手権大会

11/4(土)



## 第38回ヒートレース全日本選手権大会

日本ラジコン電波安全協会 理事長賞 争奪戦



11/5(日)

会場 愛知県碧南市湖西町  
勤労青少年水上スポーツセンター

**雨天決行**

主催 全日本モデルパワーボート連盟  
一般財団法人 日本ラジコン電波安全協会

後援 総務省

一般財団法人 日本モーターボート競走会  
公益社団法人 日本モーターボート選手会  
連盟賛助会員



## 400m周回全日本選手権大会歴代優勝者及び記録

第1回 (1966年)	A級 B級 C級	垣見 吉行 熊谷 英明 上坂 繁	1分02秒8 49秒3 46秒9	第12回 (1977年)	A級 B級 C級 D級	竹内 賢二 横須賀 弥一 山田 敏夫 天木 実	35秒3 32秒0 31秒5 30秒0
第2回 (1967年)	A級 B級 C級 D級	垣見 吉行 熊谷 武夫 渡辺 保 上坂 繁	1分00秒3 43秒7 47秒3 43秒8	第13回 (1978年)	A級 B級 C級	尾上 美博 江尻 広一 斉藤 廣志	34秒7 29秒8 29秒7
第3回 (1968年)	A級 B級 C級 D級	篠根 勇夫 津田 安朗 熊谷 英明 小倉 誠	1分09秒8 47秒8 39秒7 39秒8	第14回 (1979年)	A級 B級 C級	山本 隆 江尻 広一 多田 羅賢一	32秒22 27秒82 28秒04
第4回 (1969年)	A級 B級 C級 D級	緒方 修一 藤野 雅三 熊谷 武夫 小倉 誠	43秒5 41秒3 39秒0 39秒3	第15回 (1980年)	A級 B級 C級	佐藤 優 宮原 敏夫 斉藤 廣志	29秒96 26秒53 25秒86
第5回 (1970年)	A級 B級 C級 D級	田中 宏 池田 健二 井上 雅史 道岡 敬三	43秒5 41秒6 41秒3 35秒4	第16回 (1981年)	A級 B級 C級	池田 勝也 林 景三 斉藤 廣志	28秒69 27秒69 24秒93
第6回 (1971年)	A級 B級 C級 D級	吉沢 邦勝 横須賀 弥一 吉川 工 草川 良夫	38秒8 35秒4 35秒9 33秒1	第17回 (1982年)	A級 B級 C級	池田 勝也 今村 春彦 宮中 哲也	27秒40 24秒86 25秒19
第7回 (1972年)	A級 B級 C級 D級	吉沢 邦勝 亀井 行典 草川 良夫 天木 実	38秒5 38秒1 34秒2 32秒1	第18回 (1983年)	A級 B級 C級	大田垣 肇 今村 春彦 斉藤 廣志	25秒92 24秒28 23秒63
第8回 (1973年)	A級 B級 C級 D級	吉沢 邦勝 益山 精 小林 芳生 松永 勉	37秒3 36秒7 36秒4 32秒1	第19回 (1984年)	A級 B級 C級	川田 幸弘 斉藤 友信 後藤 和彦	24秒12 25秒26 24秒54
第9回 (1974年)	A級 B級 C級 D級	市川 喜幸 嶋 重忠 山田 敏夫 天木 実	38秒6 36秒4 32秒8 33秒1	第20回 (1985年)	A級 B級 C級	大田垣 肇 小出 達雄 本田 義昭	23秒34 23秒72 22秒74
第10回 (1975年)	A級 B級 C級 D級	森 和樹 横須賀 弥一 橋本 勝好 天木 実	38秒0 33秒5 33秒9 30秒6	第21回 (1986年)	A級 B級 C級	大田垣 肇 鈴木 保宏 川田 幸弘	23秒76 23秒84 23秒69
第11回 (1976年)	A級 B級 C級 D級	森 和樹 前田美喜雄 林 景三 天木 実	36秒5 33秒1 30秒6 30秒1	第22回 (1987年)	A級 B級 C級	岩郷 雅彦 鈴木 保宏 村瀬 勝	24秒73 23秒77 23秒48
				第23回 (1988年)	A級 B級 C級	酒井 裕次 大田垣 肇 山田 敏夫	24秒59 23秒57 23秒37
				第24回 (1989年)	A級 B級 C級	高月 龍三 大田垣 肇 川田 幸弘	24秒38 22秒51 22秒56



## 400m周回全日本選手権大会歴代優勝者及び記録

第25回 (1990年)	A級 B級 C級	岩郷 雅彦 大田垣 肇 稲井 幾夫	24秒79 22秒08 23秒48	第40回 (2005年)	A級 B級 C級 MA級 MB級 MC級	山本 洋 堀中 俊孝 針貝 和美 濱崎 剛志 服部 達之 宮内 一成	21秒45 18秒43 20秒23 28秒79 25秒04 25秒01
第26回 (1991年)	A級 B級 C級	古居 達男 小出 達雄 加藤 真人	25秒51 26秒77 24秒65	第41回 (2006年)	A級 B級 C級 MA級 MB級 MC級	大田垣 肇 荻内 英夫 針貝 和美 榎本 道行 服部 達之 谷本 正博	18秒16 17秒40 19秒25 27秒23 24秒57 24秒78
第27回 (1992年)	A級 B級 C級	西本 行義 水谷 秀夫 後藤 和彦	21秒39 22秒90 21秒05	第42回 (2007年)	A級 B級 C級 MA級 MB級 MC級	片岡 信二 馬島 章也 山脇 聖 榎本 道行 山崎 光治 片岡 好美	26秒88 21秒72 24秒99 33秒44 26秒80 31秒39
第28回 (1993年)	A級 B級 C級	岩郷 雅彦 水谷 秀夫 稲井 幾夫	20秒20 20秒02 20秒49	第43回 (2008年)	A級 B級 C級 MA級 MB級 MC級	大田垣 肇 西村 利行 針貝 和美 太田 正人 中野 知義 谷本 正博	18秒40 17秒99 18秒67 26秒95 23秒80 22秒11
第29回 (1994年)	A級 B級 C級	川田 幸弘 山本 勝紀 山根 智明	18秒69 22秒17 19秒66	第44回 (2009年)	A級 B級 C級 MA級 MB級 MC級	大田垣 肇 堀中 俊孝 馬島 章也 古居 達男 竹下 明宏 石田 智士	17秒06 17秒29 17秒63 26秒03 23秒91 21秒32
第30回 (1995年)	A級 B級 C級	大田垣 肇 多田 羅賢一 稲井 幾夫	18秒39 19秒77 20秒01	第45回 (2010年)	A級 B級 C級 MA級 MB級 MC級	大田垣 肇 高橋 茂 馬島 章也 榎本 道行 神原 啓暢 石田 智士	17秒12 17秒04 17秒92 24秒87 23秒75 20秒95 ※
第31回 (1996年)	A級 B級 C級	大田垣 肇 川田 幸弘 稲井 幾夫	17秒90 18秒16 18秒92	第46回 (2011年)	A級 B級 C級 MA級 MB級 MC級	大田垣 肇 石田 智士 馬島 章也 榎本 道行 竹下 明宏 石川 高志	16秒65 17秒67 18秒43 26秒14 24秒19 22秒67
第32回 (1997年)	A級 B級 C級 C級	大田垣 肇 多田 羅賢一 後藤 和彦 稲井 幾夫	18秒24 18秒38 17秒83 20秒01	※			
第33回 (1998年)	A級 B級 C級 C級	山根 智明 山本 勝紀 後藤 和彦 稲井 幾夫	18秒29 19秒00 18秒55 18秒92	第42回 (2007年)	A級 B級 C級 MA級 MB級 MC級	片岡 信二 馬島 章也 山脇 聖 榎本 道行 山崎 光治 片岡 好美	26秒88 21秒72 24秒99 33秒44 26秒80 31秒39
第34回 (1999年)	A級 B級 C級	大田垣 肇 堀中 俊孝 稲井 幾夫	17秒87 18秒22 18秒95	第43回 (2008年)	A級 B級 C級 MA級 MB級 MC級	大田垣 肇 西村 利行 針貝 和美 太田 正人 中野 知義 谷本 正博	18秒40 17秒99 18秒67 26秒95 23秒80 22秒11
第35回 (2000年)	A級 B級 C級	高橋 茂 堀中 俊孝 後藤 和彦	18秒71 18秒15 19秒69	第44回 (2009年)	A級 B級 C級 MA級 MB級 MC級	大田垣 肇 堀中 俊孝 馬島 章也 古居 達男 竹下 明宏 石田 智士	17秒06 17秒29 17秒63 26秒03 23秒91 21秒32
第36回 (2001年)	A級 B級 C級	杉本 誠 堀中 俊孝 三上 圭一	18秒26 17秒85 16秒86				
第37回 (2002年)	A級 B級 C級	大田垣 肇 堀中 俊孝 安西 徹	17秒43 18秒85 22秒21				
第38回 (2003年)	A級 B級 C級	宮内 一成 水谷 秀夫 後藤 和彦	36秒45 31秒76 26秒26				
第39回 (2004年)	A級 B級 C級 MA級 MB級 MC級	大田垣 肇 安達 克浩 針貝 和美 濱崎 剛志 恒吉 忠士 友行 浩二	17秒60 18秒35 20秒44 33秒14 35秒39 26秒42				



## 400m周回全日本選手権大会歴代優勝者及び記録

第45回 (2010年)	A級	大田垣 肇	17秒12	第55回	A級	榎本 道行	17秒47	※
	B級	高橋 茂	17秒04		B級	石田 智士	16秒82	
	C級	馬島 章也	17秒92		C級	大田垣 肇	17秒00	
	MA級	榎本 道行	24秒87		MA級	神原 啓暢	23秒57	
	MB級	神原 啓暢	23秒75		MB級	高橋 茂	24秒43	
MC級	石田 智士	20秒95	MC級	谷本 正博	25秒22			
ME級				ME級	浜崎 剛志	23秒55		
第46回 (2011年)	A級	大田垣 肇	16秒65	※				
	B級	石田 智士	17秒67					
	C級	馬島 章也	18秒43					
	MA級	榎本 道行	26秒14					
	MB級	竹下 明宏	24秒19					
MC級	石川 高志	22秒67						
第47回 (2012年)	A級	大田垣 肇	17秒43					
	B級	石田 智士	17秒36					
	C級	馬島 章也	18秒13					
	MA級	浜崎 剛志	25秒57					
	MB級	神原 啓暢	23秒33					
MC級	谷本 正博	24秒28						
第48回 (2013年)	A級	西本 行義	17秒71	※				
	B級	大田垣 肇	16秒00					
	C級	田村 光天	19秒78					
	MA級	榎本 道行	24秒31					
	MB級	神原 啓暢	22秒40					
MC級	谷本 正博	25秒01						
第49回 (2014年)	A級	西本 行義	17秒43					
	B級	石田 智士	16秒73					
	C級	小林 勝	20秒80					
	MA級	榎本 道行	23秒92					
	MB級	神原 啓暢	21秒78					
MC級	谷本 正博	23秒70						
第50回 (2015年) 総務大臣杯	A級	西本 行義	18秒65					
	B級	石田 智士	17秒19					
	C級	高橋 茂	18秒60					
	MA級	榎本 道行	24秒87					
	MB級	神原 啓暢	24秒19					
MC級	谷本 正博	26秒46						
第51回 (2016年)	A級	山本 隆	17秒70					
	B級	石田 智士	17秒15					
	C級	針貝 和美	21秒35					
	MA級	榎本 道行	24秒82					
	MB級	神原 啓暢	22秒89					
MC級	高橋 茂	22秒73						
第52回 (2017年)	A級	西本 行義	17秒56					
	B級	石田 智士	17秒24					
	C級	大田垣 肇	17秒60					
	MA級	榎本 道行	24秒27					
	MB級	神原 啓暢	22秒99					
MC級	高橋 茂	23秒73						
第53回 (2018年)	A級	西本 行義	18秒01	※				
	B級	石田 智士	16秒54					
	C級	大田垣 肇	19秒40					
	MA級	榎本 道行	24秒32					
	MB級	神原 啓暢	21秒32					
MC級	高橋 茂	23秒17						
ME級	殿岡 止啓	29秒00						
第54回 (2019年)	A級	米澤 定之	18秒39					
	B級	石田 智士	16秒79					
	C級	大田垣 肇	17秒78					
	MA級	土生 修	24秒42					
	MB級	池田 満雄	26秒62					
MC級	谷本 正博	23秒89						
ME級	榎本 道行	23秒54	※					

※はJMPBA公認新記録



# 大 会 役 員

大会会長	全日本モデルパワーボート連盟会長	増田 勉
大会副会長	全日本モデルパワーボート連盟 相談役 衆議院議員 一般財団法人 日本ラジコン電波安全協会専務理事	根本 幸典 神林 喜彦
大会執行委員長	全日本モデルパワーボート連盟中日本支部長	宮内 一成
大会執行副委員長	// 東日本支部長	大川 光一
//	// 西日本支部長	仲野 久隆
//	// 中国、九州支部長	大田垣 肇
//	// 四国支部長	尾崎 英児
//	// 北海道支部長	鈴木 昭廣
//	// 中国広島地区長	神原 啓暢
//	// 中国山口地区長	山根 智明

## 《 競 技 本 部 》

競技委員長	全日本モデルパワーボート連盟常任理事	太田 邦雄
競技副委員長	//	大川 光一
//	//	仲野 久隆
競技委員	//	坂 孝生
//	//	林 景三
//	//	島谷 洋一
//	//	中村 清一
//	//	溝川 孝保
//	//	衣斐 正治
//	//	小倉 聡
//	//	松本 治次
//	//	稲葉 行信
//	//	石川 雄彦
//	//	山下 秀人
//	//	三田 六一



# 大会役員

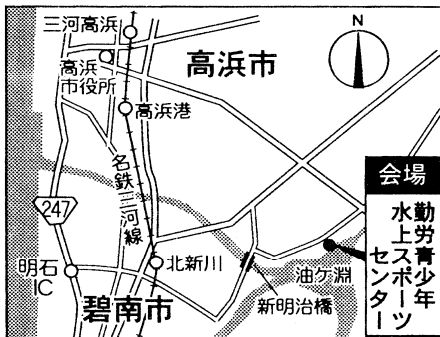
## 《大会本部》

総務委員長	全日本モデルパワーボート連盟常任理事	宮内 一成
総務副委員長	//	安達 克浩
会計	//	太田 邦雄
本部役員	//	浅岡 敏明
//	//	矢嶋 徹生
//	//	黒野 豊彦
//	//	服部 達之
//	//	野口 晴夫
//	//	森山 勝成
//	//	前田 利秀
//	//	杉浦 充
//	//	杉浦 勝
//	//	坂下 敏行
//	//	仲 良和
//	//	鈴木 克己
//	//	山下 秀人
//	//	三田 六一
//	//	上村 秀一



## 1. 大会会場

公益社団法人 日本モーターボート選手会  
常設訓練所  
勤労青少年水上スポーツセンター



〒447-0082  
愛知県碧南市湖西町5丁目59番地  
TEL 0566-48-1110  
FAX 0566-42-3988

## 2. 日程及びタイムスケジュール

令和 5年11月4日(土)

### 第56回400m周回全日本選手権大会

- 6時30分 選手受付及び出走順抽選
- 7時00分 開会式  
来賓及び大会役員あいさつ  
競技説明
- 8時00分 競技開始  
昼休み
- 16時00分 競技終了、清掃・ヒート準備
- 16時30分 表彰式

◆-----◆  
令和 5年11月5日(日)

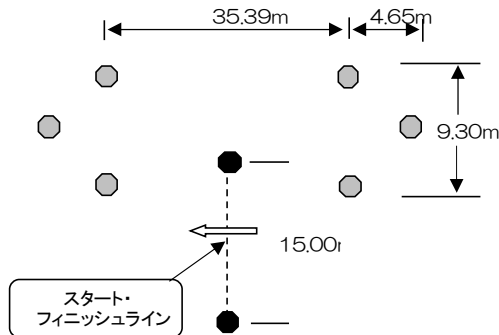
### 第38回ヒートレース全日本選手権大会

- 6時30分 選手受付
- 7時00分 競技説明 来賓あいさつ
- 8時00分 競技開始  
昼休み
- 15時00分 競技終了、清掃・撤収
- 15時40分 表彰式  
来賓及び大会役員あいさつ
- 16時10分 閉会

### 3. 400m周回競技

#### (1) 競技内容

- RCボートにより下記のコースを4周して、その合計タイムを計測する。



#### (2) クラス

- 艇に搭載されたピストンエンジンの排気量の総和によりクラスを分類する。

A級・MA級・F1級 エンジン排気量 0～3.5cc以下  
B級・MB級 エンジン排気量 3.5cc超～7.5cc以下  
C級・MC級 エンジン排気量 7.5cc超～15.0cc以下  
ME級は電動クラス規定による船型及び動力とする。  
ただし、MA級・MB級・MC級は船型の定義によるモノプレーンの条件を満たす艇の使用のみを認める。

F1級 トンネルタイプに限る

#### (3) 競技要領

- 呼び出しを受けてから、ピットアウトまでのエンジン始動タイムは、全クラスを通じて2分とする。
- エンジン始動タイム中でも、一旦選手(助手)の手から離れ水面上に発進した艇は、この時点で競技開始とみなす。
- 一旦選手(助手)の手から離れ水面上に発進した艇には競技終了又は失格と判定されるまで手を触れてはならない。
- ピットアウトした艇は、速やかにスタート・フィニッシュラインへ向かわなければならない。ただし、ウォーミングのためコース外での周回は1回に限り、これを認める。

- いかなる時も、艇がスタート・フィニッシュラインを通過した場合はその時点をもって、所要タイムの計測を開始する。
- 所要タイムの計測は、最初に艇がスタート・フィニッシュラインを通過してから開始され、5回目の通過により終了する。
- 計測を終了した艇は、安全かつ速やかに選手又は助手の手元まで収容しなければならない。
- 艇が選手又は助手に収容された時点で競技終了とみなす。
- 所要タイムは競技本部により計測し、100分の1秒まで計時する。
- 出走回数は原則として3回とし、その内の最短所要タイムをもって記録とする。

#### (4) 競技におけるペナルティー

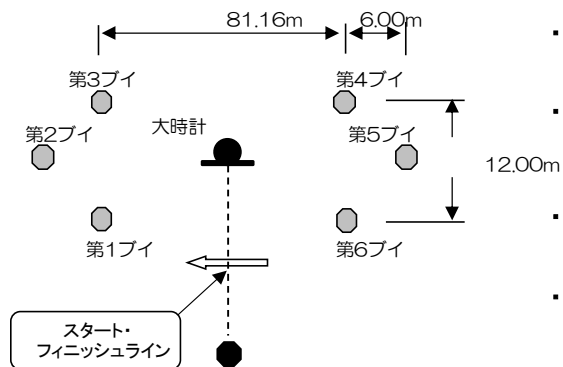
- エンジン始動タイム内にピットアウト出来ない場合は失格とする。
- コースを周回中、コース表示ブイの内側を通過した場合は正規のコースを通過していないものと見なす。選手は内側を通過したコース表示ブイを回り直さなければならない。
- コースを周回中、スタート・フィニッシュラインを通過しなかった場合はその周回をカウントしない。
- 計測中のスタート・フィニッシュラインの通過回数が5回に満たない場合及び5回を超えた場合は失格とする。
- 本部の計測により、下記に定められた騒音レベルを超えた場合は失格とする。  
(3.5cc級…85ホーン、3.5cc超級…90ホーン)
- 全艇、連盟推奨のトランスポンダを搭載する事。  
ポンダ番号は、本戦申し込み時に申告し当日は受付ない。(相応の事情あればレース開始までに本部へ相談のこと)



## 4. ヒートレース競技

### (1) 競技内容

- RCボートにより下記のコースを周回して、その着順により得点を得る。



### (2) クラス

- 艇に搭載されたピストン・エンジンの排気量の総和によりクラスを分類する。
  - A級・F1級 エンジン排気量 0 ~ 3.5cc以下
  - B級 エンジン排気量 3.5cc超 ~ 7.5cc以下
  - C級 エンジン排気量 7.5cc超 ~ 15.0cc以下
  - GS級 エンジン排気量 30cc以下ピストンバルブ (燃料: ガソリン)
- 船型によりクラスを分類する。
  - M級・GS級 船型の定義によるモノプレーンの条件を満たす艇の使用のみを認める。
  - H級 船型の定義によるモノプレーンの条件から外れる艇の使用のみを認める。
  - ME級 連盟の定める船型・動力条件を満たす艇の使用を認める
  - F1級 トンネルタイプに限る。

### (3) 競技要領

- 競技における周回数は、全クラスにおいて5周とする。
- 競技の結果により下記の得点を与える。
 

1着 : 400点	2着 : 300点	3着 : 225点
4着 : 169点	5着 : 127点	6着 : 96点
スタート後未完走 : 25点	未出走 : 0点	
- エンジン始動のコールより2分以内に艇はピットアウトしなければならない。

- 大時計はエンジン始動のコールより1分30秒で作動を始め、2分30秒で残り時間が0秒となる。
- 艇はピット・アウト後、コースを半周して第4、第5、第6の3つのブイを周回して待機する。
- 待機走行中においては、スタート・フィニッシュラインを通過してはならない。
- 大時計が0秒となった後より、艇はスタート・フィニッシュラインを通過し、規定の回数を周回する。
- 規定回数周回後は、コース外周を回ってピットへ回収する。
- 所要タイムは競技本部より大時計が0秒となった後より、1着艇がゴールするまでのタイムを計測する。

- 一旦選手（助手）の手から離れて水面上に発進した艇に手を触れた場合は、その時点で該当するヒート終了とし、以後の再発進を認めない。

### (4) 順位の決定

- 予選ラウンドを3ラウンド実施し、その合計得点の上位6選手で決勝ラウンド(1ラウンド)を実施する。予選及び決勝ラウンドの得点合計をもって1位から6位を決定し、決勝ラウンドの未出走、未完走による順位及び7位以下は予選ラウンドの順位をもって決定する。
- 予選ラウンドの順位決定において、同点の場合は、1着のある者を上位とする。1着のある者同士の場合には、1着時の所要タイムが短い者を上位とする。1着がない場合には、着順の上位回数が多い者を上位とする。

### (5) 競技におけるペナルティー

- 待機走行中のブイカット  
待機走行中には、第4、第5、第6のブイを周回しなければならない、何れかをカットした場合は、1回についてコース1周追加周回のペナルティーを課す。
- スタート前のジグザグ走航  
スタートライン前で、45°以上の方向転換及び連続した方向転換をした場合は、1回についてコース1周追加周回のペナルティーを課す。

- ・スタート時のフライング  
待機走行中に船体の一部がスタート・フィニッシュラインに到達した場合はフライングとして、コース1周追加周回のペナルティーを課す。
- ・周回中のブイカット  
コース上6個のブイの何れかをカットした場合は、1回についてコース1周追加周回のペナルティーを課す。
- ・周回中のジグザグ走航  
他艇と同時走行中に連続した方向転換をした場合は、1回についてコース1周追加周回のペナルティーを課す。
- ・ペナルティーの繰り返し  
上記の何れかのペナルティーが通算3回繰り返された場合は、そのヒートを失格とする。
- ・ブイの破壊及び移動  
待機走行中・周回中を問わず、コース上6個のブイの何れかを破壊或いは定位置より移動した場合は、そのヒートを失格とする。ブイの破壊或いは定位置より移動した当事者以外は、そのヒートを残ったブイで競技するものとして、その結果は公式のものとする。
- ・故意によるコースのショートカット  
待機走行中・周回中を問わず、故意によりコースをショートカットして競技の進行を妨げた場合は、そのヒートを失格とする。
- ・競技中の騒音発生  
待機走行中・周回中を問わず、消音装置の破損等により著しい騒音を発生させた場合は、そのヒートを失格とする。
- ・競技者特定手段の欠落  
競技者を特定するため船体に取り付けた色分プレートが、脱落・ブレ・自己の水飛沫等により、競技中審判員が識別できないと判断した場合、理由の如何を問わずその時点で、そのヒートを失格とする。
- ・故意による競技終了後のエンスト  
競技終了後に故意によりコース内や遠方でエンストさせ、競技進行の著しい妨げとなったと判定した場合は、そのヒートを失格とする。
- ・ゴール後のペナルティー相当行為

- ・スポーツマンシップの欠如  
待機走行中・周回中を問わず、選手又は助手が他の競技者への意図的な妨害を示唆する行動或いは言動を行ったと競技本部が認めた場合は、競技を円滑に進行すべきスポーツマンシップが欠如している者として、そのヒートの失格或いは大会参加資格を剥奪する。
- ・競技時間の制限  
大時計が停止後、3分以内にゴール出来ない場合は、タイムオーバーとして失格とする。

## 5 船体検査の実施

- ・競技に使用する艇は、競技前に船体検査を受けられるものとし、規定に適合していると認定されたものについては「適合シール」の貼り付けを行う。
- ・「適合シール」が欠如した艇での競技結果については、判明した時点ですべての記録を抹消する。

## 6. 賞

- ・連盟杯
- ・日本ラジコン電波安全協会 理事長賞
- ・一般財団法人日本モーターボート競走会賞
- ・公益社団法人日本モーターボート選手会賞
- ・その他

## 7. 騒音規制

- ・走行コースより15m後方にて艇の騒音を計測し、規制値を超える艇は失格とする。
- ・消音器の種類、構造等は問わない。

## 8. 異議申立て

- ・異議申立ては当該レース終了後、直ちに本部まで申し出ること。
- ・次のレース開始後の異議申立ては受け付けない。



## 第56回400m周回全日本選手権大会エントリーリスト

### ME級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地					モーター	R/C装置	
				全長 (mm)	全幅 (mm)	重量 (Kg)	船型			
1	東日本	浜崎 剛志	神奈川県	850	250	2.3	V型	Gengace	フタバ	2.4
2	東日本	大塚 栄作	神奈川県	1000	250	5	V型	SSS	フタバ	2.4
3	中日本	安達 克浩	愛知県	710	310	2.2	スキー	GOOLRC	フタバ	2.4
4	東日本	伏木田基弘	神奈川県	820	240	1.8	V型	ホビーウイング	フタバ	2.4
5	東日本	納富 孝幸	東京都	820	240	2	V型	ホビーウイング	フタバ	2.4
6	東日本	松尾 淳二	和歌山県	900	250	2.3	V型	40MM	フタバ	2.4
7	中日本	鈴木 憲哉	愛知県	750	315	2.6	スキー	GOOLRC	フタバ	2.4
8	四国	中矢 徹	愛媛県	930	250	3.5	スキー	40MM	フタバ	2.4

### F1級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地					エンジン	R/C装置	
				全長 (mm)	全幅 (mm)	重量 (Kg)	船型			
9	東日本	大谷 雅弘	東京都	760	280	2.5	トンネル	NOVA	フタバ	2.4
10	東日本	小嶋喜久夫	神奈川県	760	280	2.5	トンネル	NOVA	フタバ	2.4
11	中日本	伊藤宗一郎	三重県	740	190	2.9	トンネル	NOVA	フタバ	2.4
12	西日本	粟津 政勝	京都府	740	190	2.9	トンネル	テクノ	フタバ	2.4

### A級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地					エンジン	R/C装置	
				全長 (mm)	全幅 (mm)	重量 (Kg)	船型			
13	東日本	榎本 道行	東京都	900	600	1.8	3P	OS	フタバ	2.4
14	四国	西本 行義	愛媛県	790	510	1.5	3P	MEGA	フタバ	2.4
15	東日本	岡田 守弘	埼玉県	850	550	1.8	3P	OS	フタバ	2.4
16	東日本	小野田浩一	東京都	850	500	1.8	3P	OS	フタバ	2.4
17	東日本	宇佐美輝彦	千葉県	800	500	1.6	3P	OS	フタバ	2.4
18	静岡	米澤 定之	静岡県	660	500	1.4	3P	OS	サンワ	2.4
19	西日本	山本 隆	大阪府	700	500	1.8	3P	OS	サンワ	2.4
20	四国	関 盟人	香川県	750	500	1.5	3P	35PULS	フタバ	2.4
21	四国	三谷 智真	愛媛県	620	600	1.6	3P	OS	フタバ	2.4

### B級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地					エンジン	R/C装置	
				全長 (mm)	全幅 (mm)	重量 (Kg)	船型			
22	西日本	藪内 英夫	大阪府	900	600	3	3P	OS	フタバ	2.4
23	東日本	堀中 俊孝	埼玉県	790	649	2.1	3P	NOVA	フタバ	2.4
24	東日本	西村 利行	埼玉県	950	600	3.2	3P	Picco	フタバ	2.4
25	西日本	河上 正史	大阪府	850	600	3.3	3P	Picco	フタバ	2.4
26	広島	内海 幸夫	広島県	950	595	2.4	3P	PICCO	フタバ	2.4
27	山口	山根 智明	山口県	950	600	3	3P	ピコ	サンワ	2.4



## 第56回400m周回全日本選手権大会エントリーリスト

### C級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地					エンジン	R/C装置	
				全長 (mm)	全幅 (mm)	重量 (Kg)	船型			
28	広島	大田垣 肇	広島県	950	600	2.7	3P	NOVAROSSE	フタバ	2.4
29	東日本	針貝 和美	埼玉県	1050	650	3.1	3P	Picco	フタバ	65
30	東日本	小林 勝	東京都	700	500	2.5	3P	Picco	フタバ	2.4
31	東日本	中澤 雅昭	神奈川県	600	500	2	3P	OS	フタバ	2.4
32	東日本	安西 徹	神奈川県	850	600	2.5	3P	OS	フタバ	73

### MA級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地					エンジン	R/C装置	
				全長 (mm)	全幅 (mm)	重量 (Kg)	船型			
33	広島	神原 啓暢	広島県	670	280	1.7	スキー	OS SPEED	フタバ	2.4
34	東日本	森 佳弥	神奈川県	850	250	2.6	V型	Picco	フタバ	2.4
35	中日本	坂下 敏行	静岡県	800	240	2.2	V型	ノバロッシ	サンワ	2.4
36	東日本	櫻井 良和	埼玉県	680	280	1.45	スキー	OS	フタバ	2.4
37	東日本	加藤 浩之	神奈川県	780	250	3	V型	NOVAROSSE	フタバ	2.4
38	中日本	長谷川金広	愛知県	750	240	2.2	V型	35PLUS	フタバ	2.4
39	西日本	辻本 公昭	奈良県	700	280	2.5	V型	NOVA Russi	フタバ	2.4

### MB級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地					エンジン	R/C装置	
				全長 (mm)	全幅 (mm)	重量 (Kg)	船型			
40	東日本	高橋 茂	埼玉県	980	300	4	V型	Picco	フタバ	2.4
41	東日本	程塚 真琴	東京都	930	270	4	V型	Picco	フタバ	2.4
42	東日本	小野田佳央	東京都	940	580	2.2	V型	OS SPEED	フタバ	2.4
43	東日本	細谷 孝	埼玉県	900	270	3	V型	OS	フタバ	2.4
44	中日本	上村 秀一	愛知県	980	270	2.5	V型	OS	フタバ	2.4
45	中日本	服部 達之	愛知県	950	260	3	V型	OS	フタバ	2.4
46	中日本	森山 勝成	三重県	960	300	3.5	V型	ノバロッシ	フタバ	2.4
47	静岡	藤田 昌司	静岡県	950	270	3.0	V型	OS	フタバ	2.4

### MC級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地					エンジン	R/C装置	
				全長 (mm)	全幅 (mm)	重量 (Kg)	船型			
48	四国	谷本 正博	香川県	1280	310	6	V型	CMB	フタバ	2.4
49	東日本	幸治 芳雄	千葉県	1200	330	4	V型	CMB	フタバ	2.4
50	東日本	原 哲也	埼玉県	1050	280	8	V型	CMB	フタバ	2.4
51	中日本	浅岡 敏明	愛知県	1050	320	4.5	V型	CMB	サンワ	2.4
52	四国	元家 清二	愛媛県	1100	270	6.6	V型	ロッキー-CMB	フタバ	2.4



## 第38回ヒートレース全日本選手権大会エントリーリスト

### EM級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地	全長	全幅	重量	船型	モーター	R/C装置		バッテリー
				(mm)	(mm)	(Kg)					
1	東日本	浜崎 剛志	神奈川県	850	250	2.5	V型	京商	フタバ	2.4	Gensace
2	中日本	鈴木 憲哉	愛知県	820	240	2.5	V型	セキド	フタバ	2.4	
3	東日本	程塚 真琴	東京都	900	270	3	V型	SSS	フタバ	2.4	
4	東日本	大塚 栄作	神奈川県	1000	300	50	V型	TEL	フタバ	2.4	
5	東日本	伏木田基弘	神奈川県	930	270	2.2	V型	SSS	フタバ	2.4	HRB
6	東日本	納富 孝幸	東京都	830	230	3	V型	KV2000	フタバ	2.4	
7	西日本	田中慎之介	兵庫県	850	400	3	V型	京商	サンワ	2.4	
8	東日本	松尾 淳二	和歌山県	900	250	1.5	V型	京商	フタバ	2.4	
9	四国	三谷 智真	愛媛県	750	380	3	V型	京商	フタバ	2.4	yowoo

### F1級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地	全長	全幅	重量	船型	エンジン	R/C装置		燃料
				(mm)	(mm)	(Kg)					
10	東日本	大谷 雅弘	東京都	760	420	2.9	トンネル	NOVAROSSI	フタバ	2.4	NASA
11	東日本	小野田 浩一	東京都	740	300	3.1	トンネル	NOVAROSSI	フタバ	2.4	クロオツ
12	東日本	小嶋喜久夫	神奈川県	820	240	2.5	トンネル	NOVAROSSI	フタバ	2.4	NASA
13	西日本	粟津 政勝	京都府	720	260	2.8	トンネル	tecno	フタバ	2.4	NASA
14	中日本	伊藤宗一郎	三重県	760	420	2.9	トンネル	OS	フタバ	2.4	NASA
15	中日本	上村 秀一	愛知県	760	420	2.9	トンネル	OS	フタバ	2.4	クロオツ

### AM級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地	全長	全幅	重量	船型	エンジン	R/C装置		燃料
				(mm)	(mm)	(Kg)					
16	東日本	榎本 道行	東京都	830	230	3	V型	OS SPEED	フタバ	2.4	NASA
17	東日本	宇佐美輝彦	千葉県	920	280	3.1	V型	OS	フタバ	2.4	クロッツ
18	東日本	浜崎 剛志	神奈川県	850	250	3.2	V型	OS	フタバ	2.4	NASA
19	東日本	小野田佳央	東京都	900	300	3.5	V型	NOVAROSSI	フタバ	2.4	クロオツ
20	東日本	加藤 浩之	神奈川県	960	250	4.5	V型	NOVAROSSI	フタバ	2.4	NASA
21	東日本	方波見謙次	東京都	900	300	3.5	V型	ENYA	フタバ	2.4	クロオツ
22	中日本	矢嶋 徹生	愛知県	980	260	3.6	V型	ノバロッシ	フタバ	2.4	YA60
23	西日本	森本 雅之	大阪府	870	290	3.7	V型	OS	フタバ	2.4	クロッツ
24	四国	永井 文吾	愛媛県	960	298	3.8	V型	ノバロッシ	フタバ	2.4	ロッキー
25	東日本	磯貝 清志	千葉県	910	240	2.7	V型	NOVAROSSI	フタバ	2.4	クロオツ
26	中日本	服部 達之	愛知県	980	260	3.5	V型	NOVAROSSI	フタバ	2.4	YS60
27	東日本	成毛 末吉	東京都	900	245	2.6	V型	OS	フタバ	2.4	クロオツ

### AH級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地	全長	全幅	重量	船型	エンジン	R/C装置		燃料
				(mm)	(mm)	(Kg)					
28	東日本	宇佐美輝彦	千葉県	1000	650	2.3	3P	Picco	フタバ	2.4	クロッツ
29	東日本	小野田佳央	東京都	950	530	2.4	3P	NOVAROSSI	フタバ	2.4	NASA
30	中日本	浅岡 敏明	愛知県	940	580	2.2	3P	OS SPEED	フタバ	2.4	NASA
31	東日本	磯貝 清志	千葉県	900	570	2.5	3P	NOVAROSSI	フタバ	65	NASA
32	東日本	岡田 守弘	埼玉県	950	600	2.2	3P	OS SPEED	フタバ	2.4	クロッツ
33	東日本	藤代 宣達	東京都	980	260	3.8	3P	NOVAROSSI	フタバ	2.4	クロッツ
34	中日本	野口 晴夫	三重県	720	400	3.2	3P	ノバロッシ	フタバ	2.4	YS60
35	東日本	森 佳弥	神奈川県	930	550	2.1	3P	OS	フタバ	2.4	NASA
36	四国	関 盟人	香川県	1020	550	2.1	3P	OS	フタバ	2.4	ロッキー
37	四国	三谷 智真	愛媛県	1000	700	2.2	3P	NOVA	フタバ	2.4	ロッキー
38	山口	津山 明彦	山口県	960	590	2.2	V型	OS	フタバ	2.4	ロッキー





## 第38回ヒートレース全日本選手権大会エントリーリスト

### BM級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地	全長	全幅	重量	船型	エンジン	R/C装置		燃料
				(mm)	(mm)	(Kg)					
39	広島	神原 啓暢	広島県	1100	310	5	V型	NOVAROSSI	フタバ	2.4	ロッキー
40	東日本	高橋 茂	埼玉県	1150	320	5	V型	Picco	フタバ	2.4	クロッツ
41	東日本	程塚 真琴	東京都	1060	320	5	V型	Picco	フタバ	2.4	NASA
42	東日本	小野田 浩一	東京都	1100	310	5.1	V型	Picco	フタバ	2.4	NASA
43	東日本	小嶋 喜久夫	神奈川県	1120	300	3.5	V型	OS	フタバ	2.4	クロッツ
44	東日本	西村 利行	埼玉県	1060	300	4.5	V型	OS	フタバ	2.4	クロッツ
45	中日本	森山 勝成	三重県	1060	240	4.5	V型	CMB	フタバ	2.4	ロッキー
46	中日本	服部 達之	愛知県	1100	290	4.5	V型	ノバロッシ	フタバ	2.4	YS
47	東日本	池田 昌由	埼玉県	1060	300	4	V型	OS	フタバ	2.4	クロッツ
48	東日本	松尾 淳二	和歌山県	1200	300	4.5	V型	OS	フタバ	2.4	クロッツ
49	東日本	伏木田基弘	神奈川県	1067	279	3.8	V型	Picco	フタバ	2.4	ロッキー
50	東日本	内堀 引雄	東京都	1060	320	5.6	V型	NOVAROSSI	フタバ	2.4	ロッキー

### BH級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地	全長	全幅	重量	船型	エンジン	R/C装置		燃料
				(mm)	(mm)	(Kg)					
51	山口	山根 智明	山口県	1200	620	3.2	3P	PICCO	サンワ	2.4	ロッキー
52	広島	大田垣 肇	広島県	1250	700	3.5	3P	CMB	フタバ	2.4	NASA
53	東日本	高橋 茂	埼玉県	1100	750	3.8	3P	Picco	フタバ	2.4	クロッツ
54	東日本	安西 徹	神奈川県	1150	700	3.4	3P	OS	フタバ	67	ロッキー
55	東日本	小林 勝	東京都	1100	740	3.3	3P	Picco	フタバ	2.4	クロッツ
56	東日本	西村 利行	埼玉県	1020	750	3.5	3P	OS	フタバ	2.4	クロッツ
57	中日本	鈴木 克己	三重県	1000	700	4.5	3P	Picco	フタバ	2.4	クロッツ
58	中日本	杉浦 充	愛知県	1000	660	3	3P	Picco	フタバ	2.4	YS60
59	東日本	軍司 忠勝	東京都	960	680	2.9	3P	Picco	フタバ	73	クロッツ
60	東日本	森 佳弥	神奈川県	1200	650	2.3	3P	Picco	フタバ	2.4	NASA
61	広島	内海 幸夫	広島県	1180	660	3.4	3P	PICCO	フタバ	2.4	NASA

### CM級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地	全長	全幅	重量	船型	エンジン	R/C装置		燃料
				(mm)	(mm)	(Kg)					
62	四国	谷本 正博	香川県	1300	330	6	V型	CMB	フタバ	2.4	ロッキー
63	東日本	幸治 芳雄	千葉県	1180	320	5.5	V型	CMB	ハイテック	2.4	クロッツ
64	東日本	原 哲也	埼玉県	1200	340	9	V型	CMB	フタバ	2.4	クロッツ
65	東日本	成毛 末吉	東京都	1100	340	8	V型	CMB	フタバ	2.4	クロッツ
66	東日本	細谷 孝	埼玉県	1300	290	7	V型	CMB	サンワ	2.4	クロッツ
67	東日本	大川 光一	東京都	1140	340	9	V型	CMB	フタバ	71	クロッツ

### CH級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地	全長	全幅	重量	船型	エンジン	R/C装置		燃料
				(mm)	(mm)	(Kg)					
68	広島	大田垣 肇	広島県	1400	770	5.5	3P	CMB	フタバ	2.4	NASA
69	四国	中矢 徹	愛媛県	1300	320	7	V型	CMB	フタバ	2.4	ロッキー
70	四国	元家 清二	愛媛県	1200	300	6.8	スキー	CMB	フタバ	2.4	ロッキー
71	東日本	石 智之	東京都	1600	800	5	3P	CMB	フタバ	2.4	ロッキー
72	東日本	安西 徹	神奈川県	1200	750	5	3P	CMB	フタバ	2.4	ロッキー
73	東日本	中澤 雅昭	神奈川県	1200	800	5	3P	CMB	フタバ	2.4	ロッキー
74	中日本	鈴木 克己	三重県	900	800	4.5	3P	ノバロッシ	フタバ	2.4	クロッツ
75	中日本	杉浦 充	愛知県	1200	700	4	3P	CMB	フタバ	2.4	YS60
76	四国	山脇 聖	高知県	1350	850	5	3P	CMB	フタバ	2.4	NASA



## 第38回ヒートレース全日本選手権大会エントリーリスト

### GM級

ゼッケン No	所属支部	選手名	居住地					エンジン	R/C装置		燃料
				全長 (mm)	全幅 (mm)	重量 (Kg)	船型				
77	四国	尾崎 英児	愛媛県	1150	330	7.5	V型	ゼノア	フタバ	2.4	WAKO'S
78	東日本	大塚 栄作	神奈川県	1500	300	15	V型	NOVAROSSA	フタバ	2.4	NASA
79	四国	谷本 正博	香川県	1280	330	6	V型	ゼノア	フタバ	2.4	ロッキー
80	東日本	小林 勝	東京都	1350	380	7	V型	Picco	フタバ	2.4	クロツツ
81	東日本	磯田 秀雄	東京都	1240	330	10	V型	B.B-ZENOAH	フタバ	2.4	ガソリン
82	東日本	坂本 哲也	東京都	1080	450	7	V型	ゼノア	フタバ	2.4	ガソリン
83	西日本	山中 宏裕	大阪府	1050	300	8	V型	ゼノア	SANWA	2.4	MOTUR
84	中日本	前田 利秀	岐阜県	1200	400	8	V型	ゼノア	フタバ	2.4	ガソリン
85	中日本	宮内 一成	愛知県	1300	300	6	V型	ゼノア	フタバ	2.4	モジュール
86	四国	中矢 徹	愛媛県	1300	320	7	V型	ゼノア	フタバ	2.4	ロッキー
87	四国	元家 清二	愛媛県	1300	330	6.5	V型	ゼノア	フタバ	2.4	ロッキー
88	山口	山根 智明	山口県	1200	320	8	V型	ゼノア	サンワ	2.4	ガソリン
89	山口	田中 英雄	山口県	1510	350	7.5	V型	ゼノア	フタバ	2.4	ガソリン
90	東日本	榎本 道行	東京都	1150	380	5	V型	ゼノア	フタバ	2.4	ガソリン
91	九州	大熊 博幸	福岡県	1150	330	7.5	V型	ゼノア	フタバ	2.4	エネオス



## ヒートレース全日本選手権大会歴代優勝者

第1回 (1984年)	A M級 A H級 B・CM級 B・CH級	今村 春彦 上田 千利 金子 智明 龍 静馬	九州 西日本 東日本 九州	第11回 (1994年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	山根 智明 徳永 和夫 高木 達也 菅野 昇一 谷本 正博 中矢 徹	山口 四国 東日本 東日本 四国 四国
第2回 (1985年)	A M級 A H級 B・CM級 B・CH級	木口 敏樹 上田 千利 元家 清二 大田垣 肇	東北 西日本 四国 広島	第12回 (1995年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	古閑 卓史 西本 行義 三上 圭一 上田 尊士 藤原 紳一 黒田 紀生	中日本 四国 東日本 九州 中日本 広島
第3回 (1986年)	A M級 A H級 B・CM級 B・CH級	沢 隆朗 福沢 貞久 今村 春彦 大田垣 肇	中日本 九州 九州 広島	第13回 (1996年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	野宮 秀夫 津田 安朗 三上 圭一 大田垣 肇 片岡 好美 嶋 茂	広島 西日本 東日本 広島 中日本 九州
第4回 (1987年)	A M級 A H級 B・CM級 B・CH級	太田 邦雄 酒井 裕次 中矢 徹 川田 幸弘	中日本 中日本 四国 広島	第14回 (1997年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	野宮 秀夫 徳永 和夫 田中 英雄 上田 尊士 藤原 紳一 山本 勝紀	広島 四国 山口 九州 中日本 山口
第5回 (1988年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	太田 邦雄 酒井 裕次 松平 庄司 田中 修 宮中 哲也 川田 幸弘	中日本 中日本 中日本 山口 九州 広島	第15回 (1998年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	古居 達男 西本 行義 有國 秀頼 井上 智明 谷本 正博 黒田 紀生	中日本 四国 山口 中日本 四国 広島
第6回 (1989年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	野宮 秀夫 年治 年治 藤原 佳 田中 政利 佐野 誠彦 森 美夫	広島 西日本 山口 西日本 東日本 東日本	第16回 (1999年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	馬島 章也 西本 行義 中野 哲夫 櫻本 道行 三上 圭一 中矢 徹	中日本 四国 広島 東日本 東日本 四国
第7回 (1990年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	沢 隆朗 花畑 宏 藤原 佳 大田垣 肇 稲井 幾夫 黒田 紀生	中日本 西日本 山口 広島 中日本 広島	第17回 (2000年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	馬島 章也 西本 行義 高木 達也 上田 尊士 小林 勝 後藤 和彦	中日本 四国 東日本 九州 東日本 静岡
第8回 (1991年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	水原 捷広 津田 安朗 藤原 佳 木口 敏樹 稲井 幾夫 佐藤 宏悦	東北 西日本 山口 東北 中日本 東北	第18回 (2001年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	大下 邦雄 山本 洋 中野 知義 大田垣 肇 清水 裕三 黒田 紀生	東日本 山口 広島 広島 九州 広島
第9回 (1992年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	野宮 秀夫 西本 行義 持光 敬之 大田垣 肇 矢野龍一郎 山本 勝紀	広島 四国 山口 広島 四国 山口	第19回 (2002年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	大下 邦雄 西本 行義 中野 知義 大田垣 肇 友行 浩二 北脇 利幸	東日本 四国 広島 広島 広島 広島
第10回 (1993年)	A M級 A H級 B M級 B H級 C M級 C H級	田中 克昌 川田 幸弘 内堀 秀基 清水 幸夫 藤原 紳一 森 美夫	東日本 広島 東日本 東日本 中日本 東日本				





## ヒートレース全日本選手権大会歴代優勝者

第20回 (2003年)	A M級 高木 達也 東日本 A H級 栗津 政勝 西日本 B M級 有國 秀頼 山口 B H級 大田垣 肇 広島 C M級 幸喜 功 東日本 C H級 萩原 弘 東日本	第27回 (2010年)	A M級 山本 竜次 四国 A H級 西山 秀治 四国 B M級 日比野 誠 中日本 B H級 大田垣 肇 広島 C M級 元家 清二 四国 C H級 高橋 兼松 西日本
総務大臣杯		第28回 (2011年)	A M級 浜崎 剛志 東日本 A H級 栗津 政勝 西日本 B M級 程塚 真琴 東日本 B H級 山根 智明 山口 C M級 土生 修 広島 C H級 榎本 道行 東日本
第21回 (2004年)	A M級 中井 寿 広島 A H級 榎本 道行 東日本 B M級 有國 秀頼 山口 B H級 大田垣 肇 広島 C M級 友行 浩二 広島 C H級 黒田 紀生 広島	第29回 (2012年)	A M級 加藤 浩之 東日本 A H級 西本 行義 西日本 B M級 楠本 浩一 広島 B H級 森平 雄一 広島 C M級 河合 啓一 中日本 C H級 山脇 聖 四国
(2005年)	A M級 中井 寿 広島 A H級 西本 行義 四国 B M級 中野 知義 広島 B H級 水谷 秀夫 中日本 C M級 平山 貴士 西日本 C H級 山脇 聖 四国	第30回 (2013年)	A M級 加藤 浩之 東日本 A H級 西本 行義 西日本 B M級 神原 啓暢 広島 B H級 高橋 茂 東日本 C M級 土生 修 広島 C H級 山脇 聖 四国
第23回 (2006年)	A M級 馬島 章也 中日本 A H級 山本 洋 山口 B M級 服部 達之 中日本 B H級 西村 利行 東日本 C M級 小林 聖明 東日本 C H級 中矢 徹 四国	第31回 (2014年)	A M級 永井 文吾 四国 A H級 針貝 和美 東日本 B M級 中野 知義 広島 B H級 山根 智明 山口 C M級 土生 修 広島 C H級 山脇 聖 四国 G S級 尾崎 英児 四国
第24回 (2007年)	A M級 馬島 章也 中日本 A H級 西本 行義 四国 B M級 黒野 豊彦 中日本 B H級 尾池 幸峰 西日本 C M級 客本 金七 四国 C H級 高橋 兼松 西日本	第32回 (2015年)	A M級 永井 文吾 四国 A H級 浅岡 敏明 中日本 B M級 神原 啓暢 広島 B H級 高橋 茂 東日本 C M級 谷本 正博 四国 C H級 近藤 一彦 四国 G S級 小宮 正好 九州
第25回 (2008年)	A M級 馬島 章也 中日本 A H級 高橋 茂 東日本 B M級 鈴木 隆二 東日本 B H級 大田垣 肇 広島 C M級 小林 聖明 東日本 C H級 山脇 聖 四国	第33回 (2016年)	A M級 榎本 道行 東日本 A H級 津山 明彦 山口 B M級 程塚 真琴 東日本 B H級 佐藤 敏幸 静岡 C M級 石田 智士 広島 C H級 小林 勝 東日本 G S級 客本 金七 四国
第25回 (2008年)	A M級 馬島 章也 中日本 A H級 高橋 茂 東日本 B M級 鈴木 隆二 東日本 B H級 大田垣 肇 広島 C M級 小林 聖明 東日本 C H級 山脇 聖 四国	総務大臣杯	
第26回 (2009年)	A M級 程塚 真琴 東日本 A H級 高橋 茂 東日本 B M級 日比野 誠 中日本 B H級 片岡 信二 四国 C M級 石田 智士 広島 C H級 山脇 聖 四国		



# ヒートレース全日本選手権大会歴代優勝者

第34回  
(2017年)

A M級	榎本 道行	東日本
A H級	西本 行義	四 国
B M級	小林 勝	東日本
B H級	山根 智明	山 口
C M級	土生 修	広 島
C H級	中澤 雅昭	東日本
G S級	尾崎 英児	四 国

第35回  
(2018年)

A M級	榎本 道行	東日本
A H級	西本 行義	四 国
B M級	神原 啓暢	広 島
B H級	大田垣 肇	広 島
C M級	土生 修	広 島
C H級	高橋 茂	東日本
G S級	山根 智明	山 口

第36回  
(2019年)

A M級	榎本 道行	東日本
A H級	西本 行義	四 国
B M級	石田 智士	広 島
B H級	山根 智明	山 口
C M級	安西 徹	東日本
C H級	石田 智士	広 島
G S級	山根 智明	山 口
E M級	浜崎 剛志	東日本

第37回  
(2022年)

A M級	榎本 道行	東日本
A H級	宇佐美輝彦	東日本
B M級	神原 啓暢	広島
B H級	山根 智明	山口
C M級	石田 智士	広島
C H級	大田垣 肇	広島
G S級	尾崎 英児	四国
E M級	浜崎 剛志	東日本





# 全日本モデルパワーボート連盟

<http://jmpba.info>

## 協 賛 (順不同・敬称略)

株式会社電波社	一般財団法人 日本ラジコン電波安全協会	株式会社地球堂模型店
双葉電子工業株式会社	一般財団法人 日本モーターボート競走会	株式会社ホビープロダクト
三和電子機器株式会社	公益社団法人 日本モーターボート選手会	有限会社O M C
小川精機株式会社	日本ラジコン模型工業会	
株式会社ABCホビー	日本科学模型安全委員会	
テクニクジャパン	京商株式会社	
ロッキーパワーボート	T R K	